

授業科目

在宅看護学概論

担当教員名 宇田 優子、稲垣 千文	対象学年	2	対象学科	看護
	開講時期	後期	必修・選択	必修
	単位数	2	時間数	30

ディプロマポリシーとの関連性

知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現
◎	○	◎	○	

授業の概要

在宅看護を必要とする社会情勢、在宅看護学の理論等を座学、個人・グループワークで学ぶ。

授業の目的

社会の変化によって、在宅ケアのニーズは増大している。在宅看護学では保健・医療・福祉の有機的な連携を基盤として、在宅療養をしている人とその家族を、「地域で生活すること」「その人らしく生きること」に視点をおいて理解し、在宅看護の機能と役割、訪問看護制度について学習する。

学習目標

1. 在宅看護が必要とされる背景と根拠を説明できる
2. 訪問看護の制度、サービス提供の仕組みを説明できる
3. 在宅看護の対象と生活の場、在宅看護の提供方法、在宅療養者が利用できる社会資源を説明できる
4. 在宅看護の目的、役割、機能を説明できる
5. ライフステージや疾患、障害の特性を踏まえた在宅看護を概説できる
6. 在宅における医療管理を必要とする人の看護ケアを概説できる
7. 訪問看護における倫理とリスクマネジメントについて列記できる
8. 現場で活躍している訪問看護師の講話から、在宅看護の実際を理解する

授業計画

回数	授業計画・学習の主題	学習方法・学習課題・備考	担当教員
1	社会の諸情勢と在宅看護の歩みと法律	講義	宇田 優子
2	居宅における医行為と看護、在宅看護の提供方法と多機関連携	講義	宇田 優子
3	地域包括ケアシステムと社会資源・制度	講義	宇田 優子
4	介護保険制度とケアマネジメント	講義	宇田 優子
5	対象別在宅看護の特徴	講義	稲垣 千文
6	在宅看護における看護倫理	講義	稲垣 千文
7	在宅における医療管理と看護（1）	講義・演習	稲垣 千文 他
8	在宅における医療管理と看護（2）	講義・演習	稲垣 千文 他
9	在宅における医療管理と看護（3）	講義・演習	稲垣 千文 他
10	在宅における医療管理と看護（4）	講義	稲垣 千文
11	在宅における医療管理と看護（5）	発表・全体討議	宇田 優子
12	在宅における医療管理と看護（6）	発表・全体討議	宇田 優子
13	訪問看護ステーションの訪問活動の実際	講義	宇田 優子 外部講師予定 他
14	在宅看護とリスクマネジメント	講義	宇田 優子 他
15	まとめ	講義	宇田 優子 他
	* 内容は変更する場合がある		

使用図書

使用図書	書名	著者名	発行所	発行年	価格	その他
教科書	在宅看護論	石垣和子、上野まり	南江堂	2014年	2,600円+税	
	写真でわかる訪問看護	押川真喜子	インターメディカ		2,500円+税	
参考書						

その他の資料						
--------	--	--	--	--	--	--

評価方法

授業態度（提出物を含む） 10%程度
レポート 30%程度
筆記試験 60%程度

履修上の留意点

2年次科目の「家族看護学」「保健医療福祉制度論」「基礎看護学実習」と関連付けて積極的な態度で学ぶこと

オフィスアワー・連絡先

k 5 0 5 研究室（宇田）、k 4 0 9 研究室（稲垣）。
実習指導等で不在が多いので、来室時はメールにて予約してから来室すること。

yuko-uda@nuhw.ac.jp
inagaki@nuhw.ac.jp